

(資料4) 名簿充実について

1 連絡先判明者

2008.11.1現在

	男性	女性	計	判明率	204名の内訳	
3-1	9	8	17	38%	メルアド判明者	129
3-2	5	11	16	36%	メルアド不明者	75
3-3	11	6	17	38%	内 携帯アド判明者	6
3-4	16	4	20	44%	内 住所のみ判明者	68
3-5	16	7	23	51%	内 固定電話のみ判明者	1
3-6	15	4	19	42%		
3-7	12	14	26	58%	自己申告名簿登録者	76
3-8	11	10	21	47%		
3-9	16	8	24	53%		
3-10	15	6	21	47%		
計	126	78	204	45%		
判明率	38%	66%	45%			

2 名簿充実作戦の仕上げについて(案)

- ・名簿の仕上げは、各クラスに任せる。
- ・ただし、期日を設定し、同窓会幹事へ報告してもらう。

名簿総括者

主：小林安樹(3-6) 札幌委員長      副：服部明子(3-4) 東京代表幹事

作業手順

- ・クラス毎責任者を決める。(札幌、東京それぞれ1名ずつ)
- ・現在の名簿を責任者へ送付する。(該当クラス分のみ)
- ・2004年版同窓会名簿を責任者へ送付する。(該当クラス分のみ)
- ・何人でもどのように手分けして、不明者追跡調査を行うかは責任者に任せる。  
(例)不明者のうち、2004年版同窓会名簿において、住所が道内の者は札幌組が、道外の者は東京組が、電話等で追跡調査を行う。
- ・新規判明者を名簿に追加していく。

期日 平成21年2月末をいったんの期日とする。クラスごとまとめて、総括者に報告する。

目標 上記期日までに、各クラスとも35名以上の連絡先確保を目標とする。

クラス別責任者

クラス	札幌	東京
3-1	梅本	
3-2	土田	
3-3	村山	
3-4	柴田	
3-5	畑沢	
3-6	小林	
3-7	未定(本人承諾後掲載)	
3-8	藤田	
3-9	扇谷	
3-10	坂本	